

先日、友人が鳥取市郊外の駐車場で立ちすくんでいた。自家用車内に鍵、携帯電話があることに気付かず、妻が別の鍵でロックして立ち去ったという。キ

ーレス機能は認識できない場所が一部あるらしい。連絡も取れず、お手上げ状態だった◆かつては実家や会社の電話番号を覚え、知りたいことは本や新聞で調べた。今はスマートフォンで検索すれば事足りる。人は暗記したり考えることを忘れてしまい、退化しているのではと感じることがある◆京都大の川上浩司教授が提唱する「不便益」という考え方が面白い。不便さの中に利便性の追求が見逃した効用を探り、製品デザインの研究に活用する。例えば、通るたびに案内が消えるカーナビ。道路の形状や標識の記憶を駆使することで、道を覚えられるようになる◆技術の進歩を止め、昔の生活への回帰をうたうわけではない。大山山頂まで届くエレベーターがあれば、登山の意味がなくなる。歩くから感動が生まれ、新たな気付きがある◆三度、新型コロナウイルスの感染が拡大し始めた。これまでの自粛生活で痛感したのは、不便ゆえに便利さに依存しすぎた生活。耐えるだけはつらい。窮屈な中でも自分で工夫すれば得られる喜びがあるかもしれない。見直す機会になれば。